

平成 18 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 : 株式会社 山 武
代表者の役職氏名 : 代表取締役社長 小野木 聖二
(コード番号 6845 東証第 1 部)
問合せ先 : 管理部長 外山 史郎
(TEL : 03-6810-1009)

当社子会社(株式会社金門製作所)の通期・中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社(株式会社山武)の子会社である株式会社金門製作所が、平成 18 年 5 月 15 日に公表した平成 19 年 3 月期の中間(金門グループ連結・単独)業績予想及び通期(金門グループ連結・単独)業績予想の修正を行ないましたのでお知らせいたします。

株式会社金門製作所の業績予想修正による、山武グループ連結業績への影響につき精査しました結果、ビルディングオートメーション事業及びアドバンスオートメーション事業の拡大による売上高増加と、増収効果、収益性改善などによる利益増加が見込まれ、今回の業績予想修正を十分に補えると判断しております。従いまして、山武グループの連結業績は、中間期については平成 18 年 8 月 7 日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」どおりを見込んでおります。通期については、平成 18 年 5 月 16 日の公表値と変更ありません。



平成18年9月28日

各位

会社名 株式会社金門製作所
代表者名 取締役社長 清水 一男
(コード番号 7724 東証第1部)
問合せ先 執行役員財務部長 星野 義和
(TEL 03-3830-3743)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月15日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の株式会社金門製作所業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 19年3月期 株式会社金門製作所連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	17,200	1,000	880
今回修正予想(B)	15,900	290	240
増減額(B) - (A)	△1,300	△710	△640
増減率	△7.6%	△71.0%	△72.7%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間) *	17,065	1,080	787

*上記前期実績にはノンコア事業(平成18年3月までに売却済)の売上高402百万円が含まれております。

(2) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	34,000	1,850	1,650
今回修正予想(B)	31,600	600	500
増減額(B) - (A)	△2,400	△1,250	△1,150
増減率	△7.1%	△67.6%	△69.7%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期) *	33,318	1,579	1,054

*上記前期実績にはノンコア事業(平成18年3月までに売却済)の売上高836百万円が含まれております。

2. 19年3月期 株式会社金門製作所単独業績予想の修正

(1) 中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	16,160	930	900
今回修正予想 (B)	14,760	160	140
増減額 (B) - (A)	△1,400	△770	△760
増減率	△8.7%	△82.8%	△84.4%
(ご参考) 前期実績 (平成18年3月期中間) *	15,873	1,063	582

*上記前期実績にはノンコア事業（平成18年3月までに売却済）の売上高273百万円が含まれております。

(2) 通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	1,600	1,580
今回修正予想 (B)	29,300	480	440
増減額 (B) - (A)	△2,700	△1,120	△1,140
増減率	△8.4%	△70.0%	△72.2%
(ご参考) 前期実績 (平成18年3月期) *	30,839	1,670	1,009

*上記前期実績にはノンコア事業（平成18年3月までに売却済）の売上高462百万円が含まれております。

3. 修正の理由

当連結会計年度における中間期の連結業績予想の修正理由は、以下のとおりであります。

当中間期における連結売上高は、以下のとおりとなる見込みであります。

LPガスメーターは、昨年より需要が回復傾向にあり売上高は予定どおりとなりますが、都市ガスメーターは、価格下落及び需要の落ち込み等により減少する見込みであります。また水道メーターも前年度よりの低価格水準が続いており、全体として当初予想を下回る見込みとなり、売上高は15,900百万円に修正いたします。

経常利益及び中間純利益は、売上高の減少及び素材価格の高騰等により減少する見込みのため経常利益290百万円、中間純利益240百万円に修正をいたします。

通期におきましても、中間期の業績の影響により売上高、経常利益及び当期純利益とも減少見込みとなり、売上高31,600百万円、経常利益600百万円、当期純利益500百万円に修正いたします。

なお、単独の業績予想につきましては、連結業績予想に係る内容と同一のため、記載を省略いたします。

以上